岩盤ボーリング柱状図

調査名	加茂油木線 道路改良事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　構造物基礎

ボーリング名	Bv-4	調査位置	広島県福山市山野町池尻（No.11+0.8　L0.3）	北緯	34° 39' 45.6521"
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	令和3年10月27日～ 令和3年10月28日	東経	133° 22' 55.1818"
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者 / ボーリング責任者	
孔口標高	ＴＰ 120.16m	角度	180° 上 下 90° 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	6.00m	地盤勾配	50° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 東邦地下工機製DO型 / エンジン ヤンマー(株)製 NFD-12型 / ポンプ 東邦製BG-3C型

標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	記事
118.61	1.55	礫混じり砂質土	褐							捨て土 上部10cmは腐植土。 φ10～30mm程度の泥質岩質角礫を含む。 若干の細粒分を認める。 植物根を混入する。
117.46	2.70	粘土混じり砂礫	暗褐							崖錐堆積物 礫はφmax4cm程度の泥質岩質角礫主体。 礫間は、中粗砂および泥質岩の細片により充填される。 1.55m～1.80m　粘性土を含む。
117.16	3.00	泥質岩	暗灰	w2	h1	C	Ⅲ	b	CM	基盤岩。
116.72	3.44	泥質岩	暗灰	w4	h2	D	Ⅴ	d	D	3.0m～3.44m、風化破砕により土砂状を呈す。
114.96	5.20	泥質岩	暗灰	w2	h1	B	Ⅱ	b	CH	3.44mより硬質、割れ目は層理面に沿ったものが卓越する（傾斜40～45°）、割れ目面は暗褐色化している。 4.0m付近，掘削水の逸水あり。
114.76	5.40	泥質岩	暗灰	w2	h1	B	Ⅲ	b	CH	砂岩の薄層および白色細脈を挟む。
114.16	6.00	砂岩	暗灰	w2	h1	B	Ⅲ	b	CH	塊状・硬質 高角度白色細脈があり、脈に沿って割れる。

地質時代：新生代（0～3.00m）、古生代（3.00～6.00m）

コア採取率（%）・最大コア長（cm）・RQD［%］：

コア採取率	最大コア長［RQD］
(100)	0［0］
(100)	0［0］
(100)	0［0］
(100)	8［0］
(100)	22［37］
(100)	47［95］
(100)	15［27］

孔内水位／測定月日：10/29　5.10

標準貫入試験

N値	深度 (m)	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量
4	1.15～1.45	4/300	
11	2.15～2.45	11/300	
50以上	3.15～3.44	50/290	290
50以上	4.00	貫入不能	
50以上	5.00	貫入不能	
50以上	6.00	貫入不能	

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
10/27	300	66／ケーシング	打込み/打込みシュー	0.0	0	0.0	W1/0	0
	80		W/DC			0.0	W2/5	5
10/28	60	66	W/DC	0.0	300	0.0	W2/5	0

株式会社荒谷建設コンサルタント